

# 平成25年度函館市交通事業報告書

## 1 概 況

### (1) 総括事項

今後の経営方針を定めるため平成22年3月に策定した「函館市交通事業経営計画（第2次）」に基づき、電車の安全運行やお客様へのサービスの向上を目指して、施設の改善はもとより様々な取り組みを行ってきており、平成25年度における主な取り組みとしては、昨年度より実施された市の交通料金助成制度について、新たに5千円の専用回数券の作成、発行を行い利便性の向上を図ったほか、7月27日、28日に開催された人気ロックバンドのコンサート開催を記念して発行した市電1日乗車券が好評を博し、また、コンサート当日は来場者の混雑が予想されたことから、乗客の誘導や保安対策のため、会場付近の停留場へ職員を配置し、電車については増便を行うなどの対応に努めた。

また、平成25年度は、函館の路面電車が開業してから100周年にあたる年であり、これを記念して様々な取り組みを行った。100周年を記念して作成したロゴマークを電車の方向幕や系統板等へ表示し運行を行ったほか、キャッチコピーや車内放送チャイムを公募し、キャッチコピーについてはポスター等へ、車内放送チャイムについては実際の車内放送に使用した。大正時代の花電車を復刻した箱館ハイカラ号は、開業日である6月29日に出発式を行い8月19日まで運行したほか、出発式当日は全線100円均一による運行を行った。このほか、100周年記念イベントとしては、市内各所での歴史展示や車内での小学校紹介と絵画展などを実施したほか、臨100系統の運行、100年の電車大行進やモーニング電車大行進などを実施し、全国から大勢のファンが来函し盛況であった。また、100周年記念誌と位置付けた「函館の路面電車100年」の編集を行い、新聞社より発行された。

業務量については、定期外客が前年度に比べ6.4%減の4,805,977人、定期客が前年度に比べ2.1%増の403,136人となり、合計で5.8%減の5,209,113人となった。

事業収益については、一般会計補助金の増加等により、前年度に比べ2,191,852円の収入増(0.2%増)となり、総額で1,360,238,851円となった。

事業費用については、退職給与金や減価償却費の増により、前年度に比べ16,832,240円の支出増(1.5%増)となり、総額で1,175,423,694円となった。

この結果、当年度の収支は、前年度に比べ14,640,388円減少したものの、特別利益として、廃止した自動車運送事業の不良債務解消のため一般会計から93,000,000円の補助を受けたこともあり、184,815,157円の純利益を生じた。

また、当年度未処理欠損金は、軌道事業においては剰余金577,450,723円となっているが、自動車運送事業の欠損金残額2,211,782,105円と合わせ、合計で1,634,331,382円となった。

建設改良事業については、杉並町～柏木町間の軌道改良工事、交差点の軌道・舗装改良工事、変電所改良に伴う実施設計委託のほか、超低床電車の購入を予定どおり施行した。

なお、平成26年4月1日からの消費税率改定に伴い、平成26年3月26日付けで北海道運輸局へ運賃改定の認可申請を行った。